

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

中期経営計画

イノベーティブで持続可能なサービスを提供し、経済価値と社会価値の両立を目指す企業であり続けること

売上高

468,000百万円

営業利益

41,300百万円

ROE

20%

ZEH比率

50%

② 中長期の経営戦略

1. 基盤戦略

エリア支社制に向けた事業基盤強化。入居率・稼働家賃単価向上と総合賃貸管理業としての地位確立

3. 個人契約の改善

自治体連携・留学生市場開拓。ダイナミックプライシング導入で入居率と収益性向上を実現

2. 法人利用の拡大

法人部から地域への人員・顧客移管。商工会議所・自治体連携で外国籍人材受け入れ企業との関係強化

4. 開発事業の再開

管理物件ポートフォリオ最適化。既存物件建替え・不動産開発・法人市場開拓で新規物件供給

③ 対処すべき課題

① 入居率と稼働家賃単価

- 法人営業から地域営業へシフトし営業力強化
- ダイナミックプライシング導入で柔軟な価格設定を実現
- 外国籍入居者と留学生需要を積極的に獲得

② 管理物件の最適化

- 平均築年数引き下げで老朽化物件の建替え推進
- ファンド・ランドセット販売等で多様な開発方法を展開
- ZEH物件供給で脱炭素社会に貢献

③ 組織基盤の強化

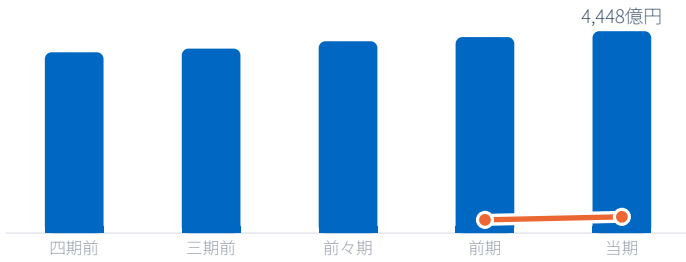
- 協力業者との連携強化でサービス品質向上
- オーナーとの定期コミュニケーション強化
- デジタル人材育成とデータドリブン経営基盤構築

面接で使えるポイント

- 単身世帯が2035年にかけて増加する中、家具家電付きワンルームを大都市圏に集中供給する当社の独自ポジション
- 外国籍入居者が管理物件の約10%を占め、今後も外国人労働力不足が追い風となる事業環境
- 2028年3月期にROE20%・ROIC18%達成を目指し、経済価値と社会価値の両立を追求する経営姿勢

証券コード 8848

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,448億円営業利益率
8.1%財務健康度
45点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
650万円

不動産業内 84位/130社

平均年齢
41.0歳

不動産業内 54位/131社

平均勤続
13.0年

不動産業内 15位/131社

女性管理職
5.9%

不動産業内 65位/76社

男性育休
66.6%

不動産業内 34位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

